

# 2週連続の台風、列島縦断

秋台風が及ぼす影響

# 電力新聞

10月17日  
金曜日

発行元  
(株)フロンティアO's

東京都中央区八丁堀3-11-8  
ニチト八丁堀ビル8F  
TEL:03-5540-4374

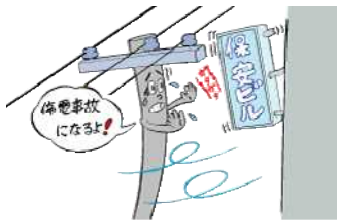
ホームページ検索

フロンティアオーズ

<http://www.frontier-os.co.jp/>



© AFPBB News 提供  
台風19号の写真



## ◆列島縦断2人死亡、負傷者相次ぐ

大型で強い台風19号の影響により、鳥取県と愛媛県で計2人が死亡、静岡県で1人が行方不明となり、転倒するなどして全国で計82人が負傷した。各地の自治体が出した避難勧告の対象は全国で計約175万5千人に上った。

## 【九州】

停電は沖縄、鹿児島 それぞれ4万戸以上

沖縄、鹿児島両県で15万人以上に避難勧告が出された。住民への避難勧告は沖縄県で名護市など4市1町の6万世帯15万人以上で、鹿児島県でも徳之島町など3町が2716世帯5899人に避難勧告を出した。停電は沖縄、鹿児島で、それぞれ4万戸以上となり、那覇空港が全面閉鎖されるなど交通機関も乱れた。



台風の強風で鉄柱が折れ倒れた電柱  
=11日午後0時26分、浦添市城間

## 【栃木】

鹿沼で住宅床下浸水  
栃木などで自主避難も

栃木県の被害状況によると、県内では鹿沼市で住宅の床下浸水が2棟、倉庫の浸水が1棟あった。道路関係では県道の那須甲子線、上久我栃木線が通行止めになった。真岡市、益子町では約630軒で停電が発生した。

## 【沖縄】

長時間停電 深夜に復旧

沖縄県うるま市内では10日午後7時ごろから停電が始まり、一時、県内最多の約1万1400世帯が停電した。市石川楚南では約50時間半停電が続いた。市内の復旧は12日午後11時までにて完了した。周辺のコンビニエンスストアが臨時休業する中、地域の買い物客が食料品を求めて訪れた。生活用品を販売する花城ストアを営む花城さんは「復旧がもう少し遅れていたら商品が売り物にならなくなっていた」と話す。テレビが見られなかったためラジオで情報を得ていたが、やきもきしていたという。

「この辺りは昔から、停電するのは早く復旧するのは遅い。いつにならなければ改善されるのか」と嘆いた。

## 【北海道】

台風余波：北海道は雪景色

北海道は台風19号から変わった低気圧の影響で、上空に11月1日通過する寒気が流れ込んだため、東部の石北峠では10センチ以上の雪が積もった。国道39号の石北峠には、約10センチの雪が積もった。北海道は、この15日までは、これからの15日昼にかけて多いところでは、10センチ以上で、峠越えには冬タイヤが必要。新千歳空港の発着便も多くが欠航した。また、太平洋側や道東を中心に中小高の計67校が臨時休校。このうち釧路市は全42校、小中学校を休校とした。授業を午前で打ち切ると、学校も相次いで打ち切った。



雪で白く覆われた石北峠(14日 午前10時)

# 福島駅を災害に備えて「エコステ」に、太陽光十地中熱十蓄電池を導入

JR東日本は電力を自給自足できる「エコステ」のモデル駅として福島駅をリニューアルする。駅構内の空き地に加えて施設の屋根や窓にも特性の違う3種類の太陽光パネルを設置する計画だ。災害時の帰宅困難者を受け入れられるように、地中熱による空調システムや蓄電池も導入する。

\* \* \*

福島駅の「エコステ整備計画」では、合計8種類のエネルギー関連機器を組み合わせて利用する予定だ(図)。構内の3カ所にタイプの違う太陽光パネルを設置して自家発電を可能にするほか、地中熱を利用したヒートポンプによる空調を新幹線の待合室に取り入れること。さらに2カ所に蓄電池を導入すること。停車時でも電力を供給できるようにする。

＜図＞ 福島駅の「エコステ整備計画」。出典：JR東日本

このほかにもLED照明、電気自動車用の充電器、発電量などの表示盤を設置して、電力を効率よく使う「エコステ」のモデル駅として整備する方針だ。福島駅をリニューアルする最大の目的は、東日本大震災のような災害時に備えて、帰宅困難者を駅で受け入れる体制を強化することにある。



「発電機」と「蓄電池」の違いは是非に伴い、曖昧になってきたのが「電力不足や発電方式の違いです。みなさまは、明確に違いを理解されていますか？」

## 発電機と蓄電池の違い



「**発電機**」はガソリンやガスなどを利用して電機そのものを作る役割を担う機器のことです。多くの発電機は、何らかの動力で回転を電気に変換して回し、電力を作り出せることです。これは、家庭用のポータブル発電機に限らず、電力会社が風力発電や水力発電も同じです。熱や核融合をお湯を沸かして蒸気を作り、その蒸気の力でタービンを回し、その回転力を電気に変えているわけです。

「**蓄電池**」は、文字通り電池のことです。火力、太陽光、水力などの発電機により作った電気をいったん充電(蓄え)させておくための充電を「蓄電池」と呼んでおきます。

この蓄電池は、わたしたちが携帯電話やデジタルカメラなどで使っている充電電池と同じように充電できるのです。

それぞれ長所と短所があり、互いに不足を補うたいですね。

	ためる! <b>蓄電池</b>	つくる! <b>発電機</b>	
購入費用	高価	安価 (ピンキリだが蓄電池の約1/2~1/3)	◎
電力源	<充電式> ・コンセント ・発電設備(太陽光/発電機など)	<燃料補充式> ・ガソリン ・ガス	△
ランニングコスト	・発電設備から→¥0 ・電気代→約12円/kw ※深夜電力で満充電にした場合。	ガソリン代→約99円/kw (1Lあたり¥150)	△
連続使用時間	蓄電容量による	燃料給油すれば連続使用可能	◎
屋内での使用	排気ガスなどが出ないため 屋内使用可能。無臭。	排気ガスが出るので、屋外限定。 ガソリン臭い。	×
緊急時	予め蓄電して使える	ガソリン不足になる可能性がある	×
瞬停時間	無瞬断	40秒以内(自動切り替え)	△
メンテナンス	普段のメンテナンスは不要。 年に1回の点検推奨。 ※バッテリーはリサイクル可能。	・月に1度、10分程度の運転推奨。 ・燃料の変質による始動不良を防ぐために、定期的に(3か月に1度)タンク内の燃料を交換。など	△

蓄電池と発電機、それぞれ同等の性能機種を比較しました。  
※対象とした発電機は一例であり、この比較が一致しない場合がございます。ランニングコストは、2014年10月現在